

【日本の大学】第75回——順天堂大学：医学中心の健康総合大学

順天堂大学は今から、180年以上前の江戸時代後期に江戸薬研堀（現在の東京都中央区東日本橋2丁目）に開学した蘭方医学塾（和田塾）を起源に持つ、医学部を中心とした私立大学である。順天堂の「順天」とは、中国の古典「易経」にある「順天応人」「天の意志に順い、人々の期待に応える」と、孟子の言葉である「順天者存 逆天者亡」（自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる）に由来するという。

学是や理念もそうした精神を受け継いでおり、学是としては「仁」（他を思いやり、慈しむ心）を、理念としては「不断前進」（現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢）を、また、学風としては、出身校・国籍・性別による差別のない「三無主義」を掲げている。

「健康総合大学・大学院大学」を標榜し、医学、医療看護学、保健看護、保健医療、スポーツ健康科学、国際教養学の研究・教育を行うため、現在は、七つの学部と三つの大学院を擁している。



本郷・お茶の水キャンパス

創立 180 余年の歴史

以下、順天堂大学のホームページなどを参考に、大学の歴史と現状をみていこう。

1838 年に蘭方医学塾（和田塾）を開いたのは佐藤泰然である。泰然は蘭方医を志して 3 年間、長崎に留学した後、日本最古の医学教育機関とされる和田塾を開いた。泰然は、その後、1843 年に下総佐倉（千葉県）に蘭医学塾「順天堂」を開設し、西洋外科に重点を置く教育を行い、多数の優秀な医師を育てた。順天堂の名声を聞いて、全国から百数十名を超える俊英が医学を学ぶために集まったという。泰然は佐倉藩の藩医として藩校でも蘭学を教授した。

これが、現在の順天堂大学につながっており、大学では佐藤泰然を学祖とし、1838 年を大学の創設の年としていて、2018 年に創立 180 年を迎えている。

明治時代となり、順天堂は東京の下谷練堀町に開院（1873 年）、湯島・本郷に移転（75 年）、順天堂医事研究会の発足（85 年）、看護婦講習所の開設（96 年）、赤坂分院の開設（1912 年）と順調に拡充していった。大学の名が付いたのは、第 2 次大戦後の 1946 年、財団法人順天堂医科大学となってからである。



明治初期に建てられた旧順天堂医院の本館デザインを再現

付属 6 病院擁する医学部

新制の順天堂大学として開学したのは 1951 年である。同時に体育学部（Ⅰ類、Ⅱ類）を開設、翌 52 年には医学部医学科を開設した。大学院の医学研究科（博士課程）が発足したのは 1959 年である。この間、習志野キャンパスの開設（1947 年）、滝野川分院の開設（1953 年）や、静岡県伊豆長岡に順天堂伊豆長岡病院を開院（1967 年）、千葉県浦安に順天堂浦安病院の開院（1984 年）など、教育・医療分野への拡大を続けた。

現在大学は、医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部、医療科学部の七つの学部で構成されている。

医学部は創設以来の長い歴史を誇る学部である。人格的に優れ、知性と教養と感性に溢れる医師になるための教育を行う中で、医療技術などを学ぶことにより 6 年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格できるような教育を実施している。合格率をみると、過去 10 年、過去 20 年に平均でも、医学部のある国公立大学 80 校の中で第 2 位であり、全国平均を大きく上回っている。本部のある本郷・お茶の水キャンパスを本拠としている。

このほか、医学部では、将来研究医を目指す人のために医学研究のエリート育成を目的とした「基礎医学研究者養成プログラム」を設けている。1 年次から特別カリキュラムを設けており、早期に自身の研究をスタートできる。最先端の ICT 教室が完備されていて、ICT を活用した授業が行われているのも特徴である。

医学部に附属する病院としては、本部キャンパスにある順天堂医院のほか、静岡病院（伊豆長岡）、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京高等高齢者医療センター、練馬病院の 6 病院がある。



順天堂大学浦安病院

スポーツ通じ持続可能性に貢献

スポーツ健康科学部は、新制大学発足の際にできた体育学部を1993年に改組改称して誕生した。「スポーツと健康」に関する多角的な視点、専門性並びに高い倫理観を備え、スポーツを通じて持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成することを目指す。キャンパスは習志野キャンパスから1988年に新たに移転したさくらキャンパス（千葉県印西市）を使用している。大学院は1997年にスポーツ健康科学研究科がスタートし、2000年には博士課程も開設。2005年にはスポーツ健康医科学研究所（さくら）も開設されている。現在、スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科の3学科からなっている。



スポーツ健康科学部

医療看護学部は、1896年に看護婦養成所を開設して以来の看護学教育の伝統があり、100年以上の歴史を誇る。1952年になり、大学医学部附属看護学院を開設（1962年まで）、1954年には准看護婦学院を開設、さらに高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学などの組織変更・改編を経て、2004年に医療看護学部の開設につながった。その後、大学院の修士、博士課程も開設されている。千葉県浦安の浦安キャンパスにあり、男女比では97%が女性である。学部は、医療と看護に必要な知識とスキルを修得し、患者さんの痛みを感じ取り、患者さんの満足できる看護を確実に実践できる看護師の育成を目標にしている。

保健看護学部が開設されたのは2010年である。学部は、静岡県三島市にある三島キャンパスにあり、医学部附属静岡病院やその関連医育機関と連携して最新の臨床知識、技術の伝達、習得を図り、チーム医療の一翼を担う看護実践能力の優れた看護職者を養成する。また、保健医療福祉の分野を総合的に学び、地域の人々の保健衛生・健康保全に貢献できる看護職者を育成する。学生の94%が女性である。



三島キャンパス

国際教養学部は、2015年に本部のある東京都文京区本郷に開設された。国際社会で幅広

く活躍するために必要な教養や高いコミュニケーション能力を修得するためのカリキュラムを通して、多様な価値観の中で自律し、周りの人々と共生し、主体的に生きることができ、グローバル市民の養成を目指している。男女比は女性が62%、男性が38%である。

保健医療学部は2019年に、文京区本郷に新設された学部である。高度な専門知識と技術をもって、多岐にわたるフィールドで活躍できる理学療法士・診療放射線技師を養成する。大学病院などのリハビリテーション科、放射線科と緊密に連携しながら、確かな技術力と高い実践力を身につけていく。理学療法学科と診療放射線学科からなっている。男女比では女性の比率がやや多くなっている。

2022年に新たに開設されたのが医療科学部である。豊かな人間性と専門的知識・実践実力を兼ね備えた臨床検査技師・臨床工学技士を育成する。医学部付則病院、医学関連病院や卒業生の運営する病院・施設と連携することで、講義と実習との一貫性の確保を図り、より専門的な知識・技術の習得を図る。

大学院は医学研究科のほか、スポーツ健康科学研究科、医療看護学研究科の3研究科がある。医学研究科は、医学を人間に対する総合科学と位置づけ、不断に前進する医学的知識・技術を理解、実践し、さらにこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場であるとしている。スポーツ健康科学研究科は、スポーツ健康科学部の3学科に対応した三つの学問領域で構成されている。即ち、スポーツ科学、スポーツ社会学、健康科学の各領域である。また、医療看護学研究科では、高度な実践能力を持つ看護専門職者、および医療看護学のあり方を探究する教育者・研究者の育成を目指している。



順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研修センター

大学の国際化に関しては、垣根を持たない開放性、公平性の精神に基づき、豊かな国際性を育む環境を整えるとして「国際化ビジョン」を制定し、海外からの留学生支援と、学生や教職員の海外留学などの支援を行うため「国際交流センター」を設けている。

海外からの留学生の支援に関しては、センターが短期研修受け入れの対応、留学生・研究者の入学・生活支援、国際交流・文化交流イベントなどの企画、運営などを実施している。2022年5月現在、順天堂大学に留学している外国人留学生は35名である。

学生数は、学部が6281名（うち女性3583名）、大学院が1146（同462名）の7427名（同4045名）。教員数は、1871名（同588名）である。（いずれも2022年5月現在）

学長は新井一氏である。1979年順天堂大学医学部卒、大学医学部脳神経外科に属し、助手、助教授、教授などを経て、2008年に医学部附属順天堂医院院長、2011年医学部研究科長・医学部長をへて2016年から学長。医学博士。



令和2年度順天堂大学卒業式

日文：滝川 進

写真：順天堂大学 Facebook